

## 令和6年度 愛媛県小中学校教頭会活動方針

昭和37年の結成以来、私たち愛媛県小中学校教頭会は「教頭相互の協調を保ち、学校運営の合理化を図り、愛媛県教育の向上に寄与すること」を目的とし、諸先輩方の取組、教育行政や関係諸団体からの御指導・御支援のもと、職能研修団体として発展してきた。

今年度は、大きく次の2点を中心に、着実な活動を進めていく。

### 1 研究推進

全国公立学校教頭会の研究は、全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」のもと、第13期の2年目となる。私たち愛媛県小中学校教頭会では、昨年度、第13期の初年度として第62回愛媛県小中学校教頭会研究大会（宇和島大会）を開催した。五つの研究課題についての提言を軸にした協議は、校種や学校規模、地域の枠を超えて共有され、「教頭力」の向上、「チーム教頭」という組織力の強化につながった。第13期初年度の研究として、継続研究の土台を築く実りある研究大会となった。

今年度は、第63回愛媛県小中学校教頭会研究大会（新居浜大会）を有意義なものとし、研究の成果を積み重ねたい。教頭の職務内容や機能に関わる5課題での継続研究を進め、私たち教頭自身の「教頭力」のさらなる向上を目指すとともに、教職員の意識改革や学校組織の活性化、地域・家庭との連携強化等につなげ、学校運営の改善と愛媛の子供たちの笑顔のために研究を推進していく。

### 2 業務改善を中心とする組織経営・運営

会員の負担軽減のため、これまでも、会則や各種規程に従って手順を踏まえながら、兼ねられる部分は兼ね、削ることができる部分は削ってきた。更に、「情報提供の迅速化・共有化」をねらい、県教頭会ホームページの充実にも努めてきた。今年度もこれらを継続して推進したい。また、会員数の減少という状況を見据え、経費削減に向けて取り組んでいきたい。

今後も会員の声を聴き、健全で持続可能な組織運営を目指し、多くの面で互助・共助していく組織であるよう努めていきたい。

これらの実現のために、愛媛県小中学校教頭会は以下の重点目標を掲げ、教頭一人一人が自覚を高め、協力して研究の推進、活動の活性化に努めるものとする。

### ～ 重点目標 ～

- 1 実践・研究の充実を図り、教育者としての教養と専門性を磨き、管理職として必要な諸能力を高める。
  - (1) 全国共通課題の解明に向けた、組織的・継続的な実践・研究の推進
  - (2) 実践・研究の成果の蓄積と情報の共有化（ネットワーク化）
  - (3) 教育課程編成の工夫と創意ある学校運営
  - (4) 第63回愛媛県小中学校教頭会研究大会（新居浜大会）に向けた実践・研究
- 2 教頭会組織の発展・強化と関係諸団体との連携を図る。
  - (1) 各支部との連携による組織の円滑な運営と会員相互の連携・交流
  - (2) 関係諸団体との連携（全公教、四国教頭会、県教育会、県校長会等）